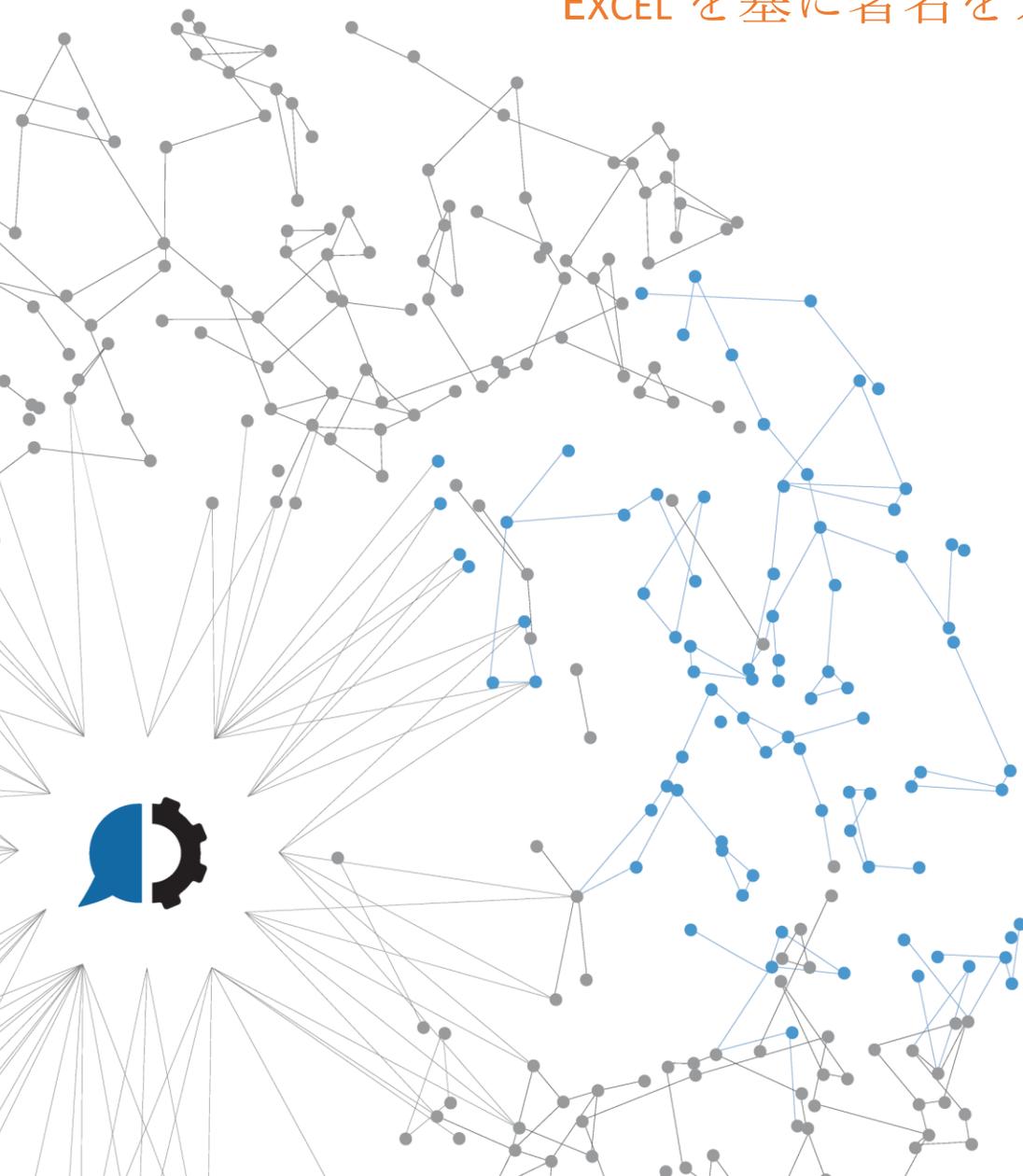




# ADOBE SIGN BOT

EXCEL を基に署名をメールで依頼





## 目次

概要.....	3
必要条件.....	4
AUTOMATE タスクのインポート方法 .....	8
入力ファイルの作成方法.....	9
「ADOBE SIGN BOT- EXCEL を基に署名をメールで依頼」の実行方法 .....	10
付録A-結果を含む EXCEL ファイルと ADOBE SIGN ビューの結果 .....	12
付録B-トラブルシューティング .....	13



## 概要

この How to ガイドでは、「**ADOBE SIGN BOT- EXCEL を基に署名をメールで依頼**」をご紹介します。繰り返しの多い手作業に貴重な時間とリソースを費やす代わりに AutoMate に任せて、RPA による自動化で IT とビジネスプロセスを合理化しましょう。AutoMate の支援により、ボットが手作業を代行することで反復作業を大幅に減らし、作業の品質と一貫性を向上させることができます。自動化されている主なプロセスは、レポート作成、ファイル移動、データのインポートとエクスポート、バッチ処理のスケジューリングです。

「**ADOBE SIGN BOT- EXCEL を基に署名をメールで依頼**」は、Adobe Sign REST API をベースにしています。Excel ファイルで提供されたデータを用いて HTTP POST メソッド「/agreements」を実行し、実行結果で更新することにより、Adobe Sign で契約書を作成し、署名を求めて送信し、契約書 ID を返送します。Bot は API Token 認証方式を採用し、ユーザー名とパスワードを使用しません。トークンは認証コードの取得に使用したユーザーアカウントに関連付けられますので、署名の必要があるユーザーアカウントごとにボットが必要になります。詳細な情報は、「[必要条件](#)」と「[入力ファイルの作成方法](#)」をよく確認してください。

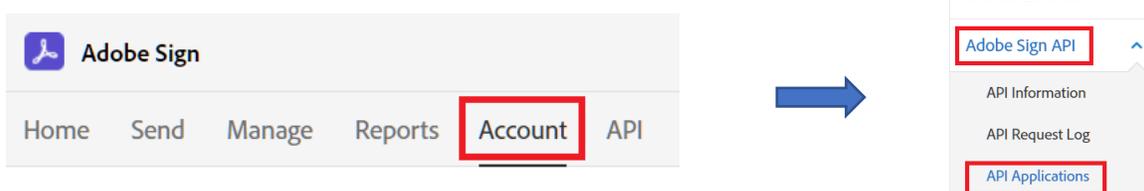
なお、*Adobe Sign* の API 連携は、「**Enterprise 版**」のみ対応しています。

また、「**ADOBE SIGN BOT-トークンの生成と更新**」(OAuth Authorization Code Workflow ベース)があり、このボットが動作するための最初のトークン作成と更新のための簡単な方法を提供することができます。デフォルトでは、トークンは1時間が有効期限です。



## 必要条件

- **AutoMate:** Adobe Sign ボットは動作に AutoMate を必要とします。最低限サポートされているバージョンが以下の通りです:
  - Automate Ultimate 11.2
  - Automate Plus 11.2
  - Automate Desktop 11.2
- **AutoMate Markup Language file (.AML):** Adobe Sign ボットタスクのステップを含む AutoMate で使用される主要なファイル形式
- **Adobe Sign Graph:** 最低限必要なものは以下の通りです。
  - **アプリケーション一覧ページで Adobe Sign のアプリケーションを作成する:** 他の Adobe Sign ボットとの接続に使用されるトークンの適切なスコープとリクエストを設定できるようにするには、Adobe Sign プラットフォーム内にアプリケーションを作成する必要があります。Adobe Sign のアカウントにサインインし、[ACCOUNT]タブ > [Adobe Sign API] > [API Applications]セクションを選択すると、API アプリケーションを見つけることができます。管理者権限が必要ですので、権限がない場合は、Adobe Sign の管理者にご確認ください。アプリの作成方法の詳細については、こちらの [Adobe Sign のリンク](#) からご確認ください。



API Application の追加:





名前、表示名を入力し、「ドメイン」を選択します。

- **アプリケーションに OAuth を設定:** アプリケーションを作成すると、API アプリケーションのリストに表示されます。自分のアプリケーションを選択し、「**Configure OAuth for Application**」をクリックします。

設定フォームが表示されます。必要な情報を入力してください。この設定には、ボットの設定で使用するクライアント ID とクライアントシークレットが含まれています（安全に保管してください）。認証コード付与のワークフローの詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

**Create** [X]

Provide a name for your application to issue a set of credentials for use with Adobe Sign's API

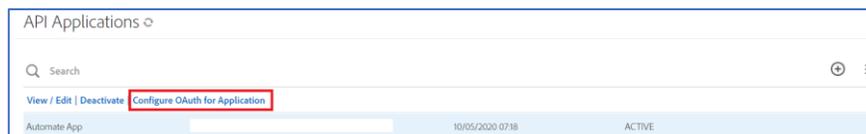
Name: [Text Input]

Display Name: [Text Input]

Domain:

- CUSTOMER (This application will only have access to data within your account)
- PARTNER (This application will have access to any authorized Adobe Sign account)

[Cancel] [Save]



OAuth config: リダイレクト URL (<https://localhost> も利用可能) を設定し、必要なスコープを選択します。



### Configure OAuth

Client ID:

Client Secret:

*Note: You must keep your Client Secret confidential.*

Redirect URI:

*Note: The redirectUri specified in your OAuth requests must belong to this list of uris. You can mention multiple uris as comma separated list.*

Enabled Scopes

You must enable the scopes that you intend to request through the OAuth protocol. Please limit the scopes that you enable to the minimum set necessary for your application, which is one of the requirements for Certification.

Please [contact support](#) if you need to change which scopes are enabled for your application. [?](#)

Note that only Group Admins can approve OAuth requests that use the ".group" scope modifier, and only Account Admins can approve OAuth requests that use the ".account" scope modifier.

Enabled?	Scope	Modifier	Description
<input type="checkbox"/>	user_read	account	View users <b>in your account</b>
<input type="checkbox"/>	user_write	account	Create or manage users <b>within your account</b>
<input type="checkbox"/>	user_login	account	Login on behalf of <b>any user in your account</b>
<input type="checkbox"/>	agreement_read	account	Access documents & data on behalf of <b>any user in your account</b>
<input type="checkbox"/>	agreement_write	account	Manage the status of documents on behalf of <b>any user in your account</b>
<input type="checkbox"/>	agreement_send	account	Send documents on behalf of <b>any user in your account</b>

- ボット実行のための適切なパーミッション・スコープで生成された Adobe Sign トークン: アプリケーションが作成され、設定されると、接続用のトークンを生成できるようになります。このトークンは、適切なパーミッション・スコープで生成する必要があります。このボットを動作させるには、次のスコープが必要です：**user\_login:self**、**agreement\_send:account** および **agreement\_write:account**。

「user\_login:self」スコープは、アカウント内の任意のユーザーの代理でログインするために必要なスコープです。「agreement\_send:account」は、アカウント内の任意のユーザーの代理で文書を送信するためのものです。また、スコープ「agreement\_write:account」は、アカウント内の任意のユーザーに代わってドキュメントのステータスを管理するためのものです。また、Adobe Sign OAuth 認証コードワークフローをベースにした「ADOBE SIGN BOT-トークンの生成と更新」で提供していますので、そちらをご利用いただくこともできます。また、このワークフローをより詳しく説明したユーザーガイドもご用意しています。



- Adobe Sign eSignature API のバージョン:このボットは、Adobe Sign REST API v.6 を使用して作成されています。

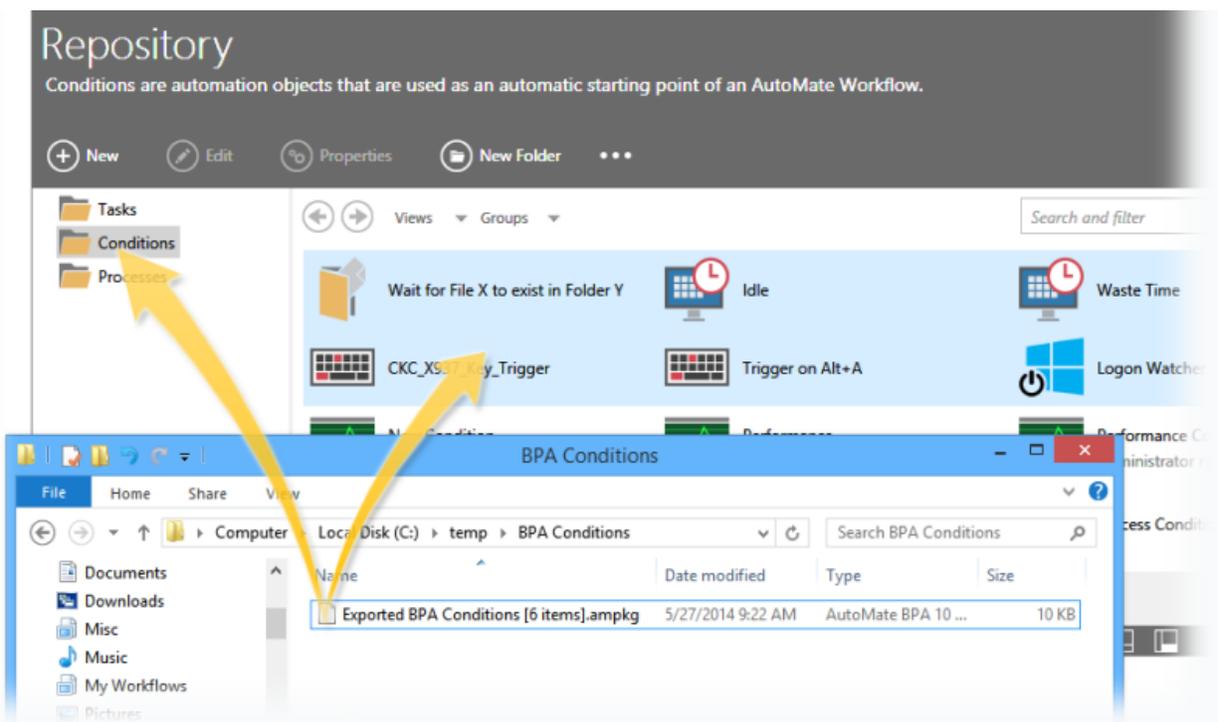


## AUTOMATE タスクのインポート方法

互換性のあるファイル形式は、ドラッグ&ドロップでレポジトリに取り込むことができます。

サーバー管理コンソールから[レポジトリ]セクションに移動します。

目的のファイルを元の場所からドラッグして、SMC 内のフォルダにドロップします。ファイルは、フォルダーアイコンまたはメインパネルにドロップすることができます（下図参照）。インポートされたオブジェクトは、自動的に対応するレポジトリの場所に配置されます。





## 入力ファイルの作成方法

Adobe Sign Bot に同梱されている入力ファイル「ADOBE SIGN BOT- EXCEL を基に署名をメールで依頼」は、トランザクションのすべてのフィールドを自動的に補完するためのガイドを提供するものです。

### 入力ファイル

A	B	C	D	E
Adobe Sign Request Single Document Signature by Email fields				
<b>Document Name</b> Name and extension	<b>Documents Foder Path</b>	<b>Email Subject</b>	<b>Message</b>	<b>Recipients</b> Format (list with semicolon separator): Recipient1@domain.com;Recipient2@domain.com

F	G	H
<b>Created and Sent?</b>		<b>Details</b>
Yes/No	Date	Agreement ID or Error Result Message

注:

- 赤色で表示されている項目は必須項目です。
- A 列には**文書名**と**拡張子**、B 列には文書が保存されているフォルダーパスを設定します。これらは Adobe Sign で自動的に PDF ファイルに変換されます。
- E 列には、リクエスト受信者という記号があります。複数の受信者がいる場合は、（セミicolon「;」で区切られた電子メールのリスト）形式を維持することが重要です。
- 入力ファイルの F 列から H 列には、実行結果と契約書 ID が記入されます。結果の例については、[付録 A](#)を参照してください。

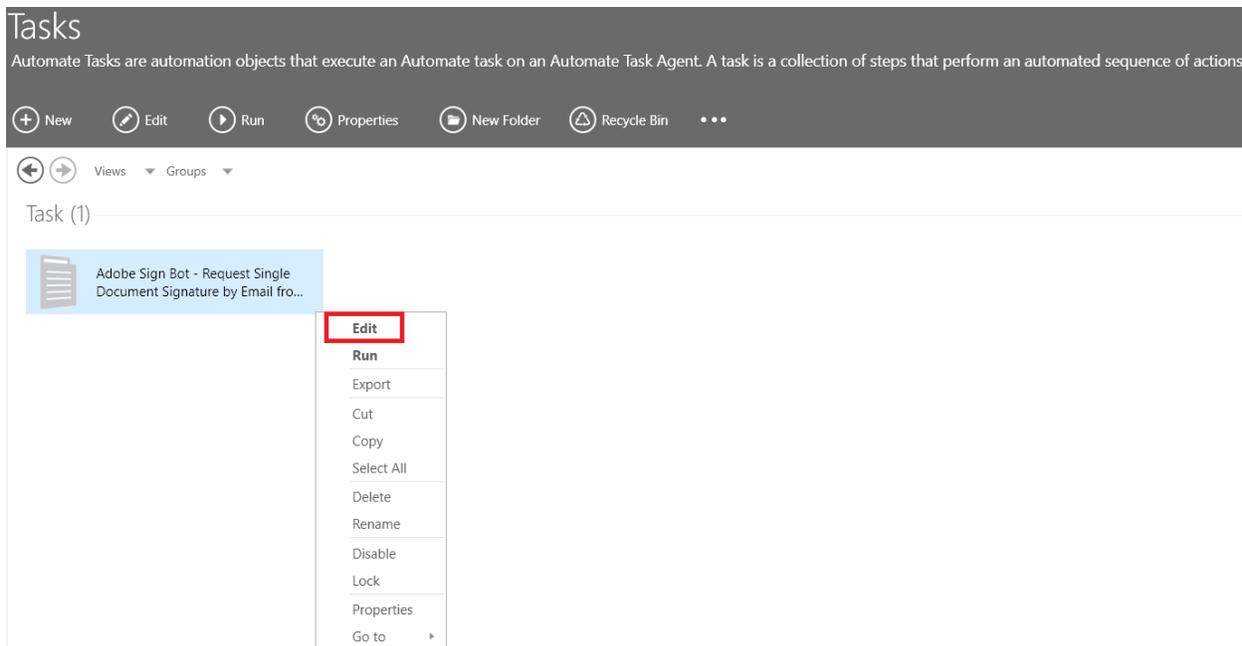


## 「ADOBE SIGN BOT- EXCEL を基に署名をメールで依頼」の実行方法

このタスクを初めて実行する場合、いくつかのパラメータを設定する必要があります。

サーバー管理コンソールを開き、インポートしたタスクを探します。

インポートしたタスクを右クリックし、「編集」を選択して編集します。



ステップ2からは、次の変数をご希望の出力に合わせて編集してください。

- **var\_ExcelInputFile:** 「ADOBE SIGN BOT- EXCEL を基に署名をメールで依頼」ファイルのロケーションパスとファイル名を設定します。例: *D:\Automate\AdobeSign\Adobe Sign Request Document Signature INPUT.xlsx*
- **var\_Token:** 接続用のトークン、またはトークン情報が記載されたファイルのパスを設定します。トークンは、トークン生成に使用したアカウントに関連づけられることを留意ください。

例: *C:\Automate\AdobeSignToken.txt*

テキストファイルを使用する場合、トークンは次のフォーマット/構造である必要があります：  
`access_token:TokenString`

ファイルの一例:

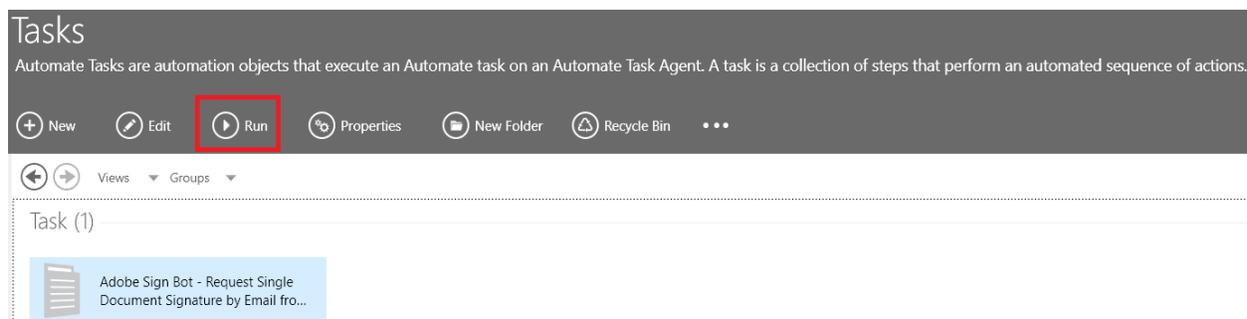
```
*AdobeSignToken.txt - Notepad
File Edit Format View Help
access_token:3AAABLb1qZhBv0uXyZTafyz
refresh_token:3AAABLb1qZHD-M4A3Bj
```



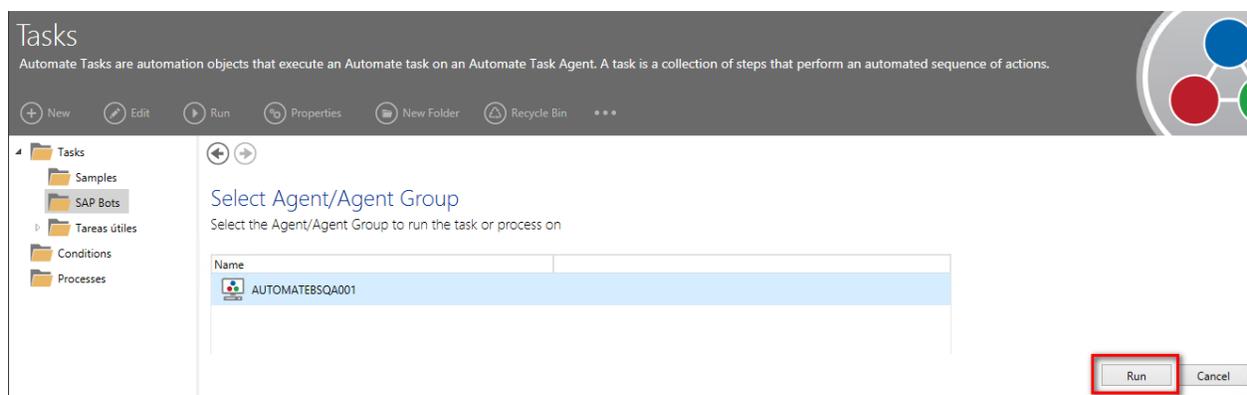
「refresh\_token」の値がありますが、これは「Adobe Sign - トークンの生成と更新」で管理されていることに注意してください。

タスクを保存して閉じる

タスクを選択し、「実行」をクリック



エージェントを選択し、再度「実行」をクリックします。





## 付録A-結果を含む EXCEL ファイルと ADOBE SIGN ビューの結果の例

結果が入力された Excel ファイル:

A	B	C	D	E
<b>Adobe Sign Request Single Document Signature by Email fields</b>				
<b>Document Name</b> Name and extension	<b>Documents Foder Path</b>	<b>Email Subject</b>	<b>Message</b>	<b>Recipients</b> Format (list with semicolon separator): Recipient1@domain.com;Recipient2@domain.com
PDF File.pdf	D:\Automate\AdobeSign	Automate AdobeSign Bot Request Signing	Sent from Automate AdobeSign Bot	Recipient1@domain.com
CSV File.csv	D:\Automate\AdobeSign	Automate AdobeSign Bot Request Signing	Sent from Automate AdobeSign Bot	Recipient1@domain.com;Recipient2@domain.com

注: 実行結果は F~H 列に記録されます。成功した場合、H 列に契約 ID が書き込まれます。

F	G	H
<b>Created and Sent?</b>	<b>Details</b>	
<b>Yes/No</b>	<b>Date</b>	<b>Agreement ID or Error Result Message</b>
YES	02/10/2020 12:03:24 PM	CBJCHBCAABAAL7Q30VzvO9_oBsbftngL0mjLbQ3ihS
YES	02/10/2020 12:03:30 PM	CBJCHBCAABAAGzGzHYLHdLGCFVXDjHG8-nFgLVqKdzMk

Adobe Sign ビューの結果:

Home Send <u>Manage</u> Reports Account API								
<b>Your agreements</b>								
<input type="button" value="Filters"/> <input type="text" value="Search for agreements and users..."/>								
STATUS <input checked="" type="radio"/> In Progress (1) <input type="radio"/> Waiting for You (0) <input type="radio"/> Completed	<b>In Progress</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>RECIPIENTS</th> <th>TITLE</th> <th>STATUS</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>recipient1@domain.com 0 of 2 completed</td> <td>[DEMO US... est Signing</td> <td>Out for Signature</td> </tr> </tbody> </table>		RECIPIENTS	TITLE	STATUS	recipient1@domain.com 0 of 2 completed	[DEMO US... est Signing	Out for Signature
RECIPIENTS	TITLE	STATUS						
recipient1@domain.com 0 of 2 completed	[DEMO US... est Signing	Out for Signature						



## 付録B-トラブルシューティング

- ログ: 実行毎に、トラブルシューティングのためボットはログファイルを作成します。ログファイルはC:\Automate\Tasks\<<TASK NAME>>に保存されます。デフォルトでは、タスク名は *Adobe Sign Bot - Request Single Document Signature by Email from Excel INPUT* です。



[www.helpsystems.com](http://www.helpsystems.com)

### About HelpSystems

Organizations around the world rely on HelpSystems to make IT lives easier and keep business running smoothly. Our software and services monitor and AutoMate processes, encrypt and secure data, and provide easy access to the information people